

## 国内外のイニシアティブへの参画

CSRの諸課題に取り組むため、自主的に国内外のさまざまなイニシアティブに参画しています。

損保ジャパンが署名しているイニシアティブ \* ( )内の年数は、イニシアティブの開始年

### 責任投資原則(PRI)

(2006年～)

金融機関が投資の意思決定の際にESG(環境・社会・ガバナンス)課題に配慮することを宣言したもので、UNEP FIによって策定されました。損保ジャパンは2006年に日本の保険会社として初めての署名会社となり、「アセット・オーナー」として投融资プロセスにESG課題への配慮を取り入れています。



<http://www.unpri.org>

### 国連グローバル・コンパクト(UNGC)

(2000年～)

企業が人権・労働・環境・腐敗防止などの課題に自発的に取り組み、より良い企業市民へと成長していくことを促す国連と企業のパートナーシップ・イニシアティブです。損保ジャパンは2006年から参加しています。



<http://www.unglobalcompact.org>

### 気候に配慮するビジネスリーダー綱領

(2007年～)

グローバル・コンパクト、WBCSD、UNEPの三者により提唱されたもので、世界の3,000社以上が参画しています。損保ジャパンは2007年に支持を表明しました。

[http://www.unglobalcompact.org/Issues/Environment/Climate\\_Change/](http://www.unglobalcompact.org/Issues/Environment/Climate_Change/)

### エコ・ファーストの約束

(2008年～)

業界のトップランナー企業の行動をさらに促進していくため、企業が環境大臣に対し、みずからの環境保全に関する取り組みを約束する環境省の制度で、損保ジャパングループは2008年に「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。



また、2011年5月には「節電の約束」も行いました。

<http://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/>

### 生物多様性民間参画パートナーシップ

(2010年～)

2010年10月、生物多様性条約第10回締約国会議の開催を契機に、「生物多様性民間参画パートナーシップ行動指針」の趣旨に賛同した事業者、経済団体、NGO、政府などにより設立されました。NKSJホールディングス(株)とグループ会社36社は、設立時から参加しています。

<http://www.bd-partner.org>

### 国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)

(1992年～)

2011年4月現在、世界40か国・194の金融機関から構成される持続可能な発展を目指す国際的な金融機関のネットワークです。損保ジャパンは1995年に署名しており、2010年度からは、世界の保険会社とともに策定メンバーの一員としてPSI(Principles for Sustainable Insurance: 責任保険原則)の策定を進めています。



<http://www.unepfi.org>

### 持続可能な発展のための世界経済人会議(WBCSD)(1995年～)

環境と持続可能な発展に関し、産業界におけるリーダーシップを発揮し活発な議論と政策提言を行う、世界の企業トップによる連合体組織で、損保ジャパンは設立時から日本の金融機関唯一のメンバーとして活動に参画しています。



2010年度からは持続可能な消費グループとバリューチェーングループのメンバーとなって、企業向けマニュアルの策定に参加しています。

<http://www.wbcsd.org>

### カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)(2003年～)

世界の主要な機関投資家が連携して、各国の企業に気候変動への戦略や温室効果ガスの排出量の公表を要請することで、企業の気候変動対策を促そうという国際的なプロジェクトです。損保ジャパンは2005年に機関投資家として参画し、2007年からは、CDPの企画運営委員会にあたるカーボン・ディスクロージャー・プロジェクトメンバーにも加わり、活動の普及促進を行っています。



<https://www.cdproject.net/en-US/Pages/HomePage.aspx>

### 経団連自然保護協議会(1992年～)

#### 日本経団連1%クラブ(1990年～)

経団連自然保護協議会は、生物多様性保全・自然保護に積極的に取り組むとともに、企業がみずからの特徴を活かした活動を実施しやすくなるための条件の整備をしています。

<http://www.keidanren.or.jp/kncf/>

経団連1%クラブでは、広く一般の方々に企業の社会貢献活動に対する理解を深めていただくための事業や、企業やその社員と、市民活動団体をはじめとするNPOを結び付け、より有効な社会貢献活動を行うためのコーディネートを行っています。

<http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/1p-club/>

なお損保ジャパン会長の佐藤が、2006年から自然保護協議会の副会長を、2008年から1%クラブの会長を務めています。

## 損保ジャパングループのCSRに対する評価・主な受賞

### 2003年度

- 第7回環境レポート大賞「持続可能性報告優秀賞」受賞
- 平成15年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰 環境教育部門受賞
- Ethibel Sustainability Indexes への組み入れ
- モーニングスター社会的責任投資株価指数への組み入れ
- 日本経済新聞社第7回「環境経営度調査」非製造業部門第3位

### 2004年度

- インテグレックス社「企業の誠実さ・透明性(倫理性・社会性)調査」877社中第1位
- 平成16年度均等推進企業表彰「東京労働局長優良賞」受賞
- 日本経済新聞社「『働きやすい会社』調査 総合ランキング」第8位
- 日経ビジネス「尊敬される会社 CSRランキング」金融機関第1位
- 週刊東洋経済「専門家が目にする『信頼できる会社』」30社にノミネート
- 経営倫理実践研究センター 第2回経営倫理努力賞「共生特別賞」受賞
- 日本経済新聞社第8回「環境経営度調査」非製造業 - 金融部門第2位

### 2005年度

- 日本経済新聞社「企業の社会的責任(CSR)調査」847社中第22位
- インテグレックス社「企業の誠実さ・透明性(倫理性・社会性)調査」575社中第1位
- 第8回環境報告書賞 サステナビリティ報告書賞 サステナビリティ報告書賞部門「優良賞」受賞
- (社)企業メセナ協議会「メセナアワード2005文化庁長官賞」受賞

### 2007年度

- モーニングスターアワード「ファンド オブ ザ イヤー 2007」『ぶなの森』が国内株式型部門 優秀ファンド賞受賞
- [R&Iファンド大賞2007]『ぶなの森』が確定拠出年金 国内株式部門 優秀ファンド賞受賞
- 英国CDPIにおいて「気候変動対策公表先進企業リスト」の1社に選定
- SAM社による企業の持続可能性調査において銀賞受賞(日本の金融機関で唯一)

### 2008年度

- [R&Iファンド大賞2008]『未来のちから』が確定拠出年金 国内株式部門 最優秀ファンド賞受賞 『ぶなの森』が投資信託 国内SRIファンド部門 優秀ファンド賞受賞
- 英国CDPIにおいて「気候変動対策公表先進企業リスト」の1社に選定
- 週刊ダイヤモンド「上場企業温暖化防止貢献度ランキング」で非製造業第1位、総合第3位
- 保険代理店の全国組織と協同によるグリーン購入推進で「グリーン購入大賞 審査員奨励賞」受賞
- 損保ジャパン中国 遼寧省外商投資企業協会「社会的責任活動優秀企業」として表彰
- 環境大臣から「エコ・ファースト」企業(グループ)として認定
- 立川ビルが東京都立川市「たちかわ環境賞」テーマ賞受賞

### 2009年度

- 「世界で最も倫理的な企業2009」に選出
- [R&Iファンド大賞2009]『ぶなの森』が投資信託 国内SRIファンド部門 最優秀ファンド賞 および確定拠出年金 国内株式部門 優秀ファンド賞受賞
- 損保ジャパン中国「大連市慈善事業優秀貢献賞」受賞
- [リフォームローンecoプラン]が「第6回エコプロダクツ大賞 エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)」受賞
- 日本経済新聞社第13回環境経営度調査金融部門第3位(3年連続保険会社第1位)
- 2010年世界で最も持続可能な100社(グローバル100)に選出(2年連続)
- SAM社「企業の持続可能性調査」銅賞受賞(2年連続)
- 「CSRコミュニケーションレポート2009」が第13回環境コミュニケーション大賞環境報告書部門「環境報告優秀賞」受賞
- 第19回地球環境大賞「フジサンケイグループ賞」受賞

### 2010年度

- 損保ジャパントイランドが2009年総理大臣賞優秀経営賞部門 名誉賞受賞
- ベトナム現地法人ユナイテッドインシュアランスがベトナム通産大臣表彰トップトレードサービスアワード2010受賞
- 第14回アジア・インシュアランス・インダストリー・アワード 第1回「グリーン・カンパニー・オブ・ザ・イヤー」受賞
- NKSJホールディングス(株)が「EAST ASIA 30」(東アジアのCSRトップ30社)に選出(日本の金融機関で唯一)
- 平成22年度ボランティア功労者厚生労働大臣表彰受賞
- 日本経済新聞社第14回環境経営度調査保険部門第2位
- 「CSRコミュニケーションレポート2010」が、東洋経済新報社第14回環境報告書賞 サステナビリティ報告書賞 サステナビリティ報告書賞部門「優良賞」受賞(2年連続)
- 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント(株)の『ぶなの森』が[R&Iファンド大賞2010]投資信託 国内SRIファンド部門 優秀ファンド賞 および確定拠出年金 国内株式部門 優秀ファンド賞受賞
- 『ぶなの森』がモーニングスターアワード「ファンド オブ ザ イヤー 2010」国内株式型部門 優秀ファンド賞受賞(3年連続)
- 東洋経済「信頼される会社2011年版」CSR企業ランキング金融機関部門で第1位
- NKSJホールディングス(株)がSAM社「企業の持続可能性調査」金賞受賞(日本の保険グループで初)
- 「世界で最も倫理的な企業2011」に選出
- 損保ジャパン事務本部ビルが東京都地球温暖化対策計画書制度で「優秀事業者表彰」受賞



# 株式会社 損害保険ジャパン

コーポレートコミュニケーション企画部 CSR・環境推進室  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
TEL 03-3349-9258 FAX 03-3349-3304  
Eメール ECo@sompo-japan.co.jp

オフィシャルホームページ  
<http://www.sompo-japan.co.jp>

CSRコミュニケーションレポート 2011  
2011年7月発行

本レポートに関するご意見・ご感想をぜひお寄せください

損害ジャパンCSRコミュニケーションサイト  
<http://sompo-japan.stadiams.jp>

## 国内外のSRIファンド、SRIインデックスへの組み入れ

損害ジャパンの株式は、これまでCSRへの取り組みが評価され、数多くの国内外のSRIファンドの組入銘柄または組入候補銘柄として選定されてきました。2010年4月に設立したNKSJホールディングス(株)の株式も、Dow Jones Sustainability Indexes(DJSI World)(スイス)、FTSE4Good Index Series(英国)、Ethibel PIONEER and EXCELLENCE Investment Registers(ベルギー)、モーニングスター社会的責任投資株式指数(日本)などに組み入れられています(2011年4月1日時点)。



Dow Jones Sustainability Indexes



モーニングスター社会的責任投資株式指数



FTSE4Good Index Series



Ethibel PIONEER and EXCELLENCE



環境大臣に、みずからの環境保全に関する取り組みを約束し、環境省から「エコ・ファースト企業」に認定されています



次世代育成支援対策推進法に基づき次世代の育成に向けて積極的な支援を行う企業として東京労働局から認定されています



損害ジャパン本社ビルと事務本部ビルでISO 14001の認証を取得しています



地球温暖化防止のための国民運動「チャレンジ25キャンペーン」に参加し、「2020年までに1990年対比で温室効果ガス排出量25%削減」の実現に取り組んでいます



国産材を積極的に使って日本の森林を育てていくことが大切だと考え、林野庁が推進する「木づかい運動」を応援しています



このレポートの本文は、間伐紙(間伐材10%を含む国産材)バリエーション70%を使用)と植物油インクを使用しています